

ActiveImageTM 2022

PROTECTOR

Actiphy Authentication Service(AAS) Podman(Docker) コンテナガイド

2023年9月21日改訂



内容

1. 本ガイドの効率的な使用方法	3
2. Actiphy Authentication Service(AAS)のインストール.....	4
3. AAS へ接続.....	6
4. バンドルファイルの作成.....	8
5. バンドルファイルの登録.....	10
6. AAS のアンインストール.....	12

1. 本ガイドの効率的な使用方法

本ガイドでは、オフライン(インターネット接続できない環境)で ActiveImage Protector 2022 シリーズ導入に必要な製品のアクティベーションについて、Podman コンテナを使用する方法の解説をしています。すべての内容を確認しても問題はありませんが、必要な部分だけを参照することで効率的に理解可能です。

必要な作業として、AAS を稼働させるマシンに Podman をインストールする必要があります。

この資料では Linux OS (AlmaLinux 9 の root 権限)で設定をおこなっています。また本資料では、最低限必要なコマンドラインについても解説をおこなっているため、ご参考になれば幸いです。

2. Actipty Authentication Service(AAS)のインストール

1. AlmaLinux 9 をインストールした環境で、インターネットに接続してください。



デバイス名	localhost >
Hardware Model	VMware, Inc. VMware Virtual Platform
メモリ	3.6 GiB
プロセッサ	Intel® Core™ i7-6700 CPU @ 3.40GHz × 2
グラフィック	llvmpipe (LLVM 15.0.7, 256 bits)
ディスク容量	21.5 GB
OS名	AlmaLinux 9.2 (Turquoise Kodkod)
OSの種類	64ビット
GNOMEのバージョン	40.4.0
ウィンドウシステム	Wayland
仮想化	VMware
ソフトウェアのアップデート	>

2. root ユーザーでログインします。
3. AIP インストール用の ISO またはインストールメディアを読み込みます。
4. cd コマンドを実行し作業ディレクトリを ISO ファイルまたはインストールメディアへ移動します。

```
[root@localhost ~]# cd /run/media/root/AIPBE
```

5. コマンド「./AIP-packages-tool.sh」を実行しスクリプトを実行します。

```
[root@localhost AIPBE]# ./AIP-packages-tool.sh
```

6. 起動後、以下のメニューが表示されます。ここでは、メニューの[8]を実行し AAS をインストールします。システムの再起動は不要です。

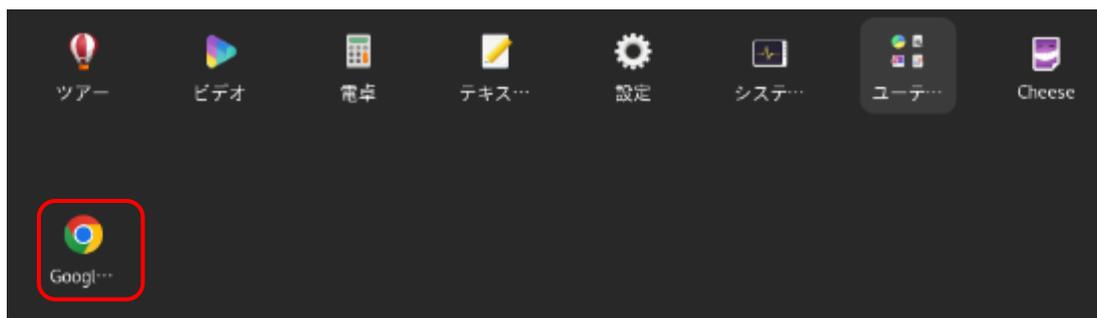
```
*****
**      ActiveImage Protector 2022 Linux installation tool      **
*****

** 2023-07-12 00:42:48 -Ver 0.2.92 START
AlmaLinux 9
System checking...
Free space in /opt/ is 11196MB.
OK, enough space in /opt/ for rescueboot LinuxBE.
Memory:4GB
OK, enough space in memory for set rescueboot LinuxBE.
This system is disabled SecureBoot.

[1] Agent
[2] GUI
[3] [1]-[2]All
[4] Install Kernel-devel
[5] Install datto driver
[6] Install AIPLinux
[7] Uninstall datto driver
[8] Install AAS
[9] Uninstall AAS
[10] Install StorageServer
[11] Uninstall StorageServer
[12] help
[13] exit

Please select install menu from [1-13]:8
```

7. インストール完了後、アプリケーション一覧に Google Chrome が追加されます。



3. AAS へ接続

1. Google Chrome で AAS をインストールしたマシンの IP アドレスを入力して、コンテナ起動の AAS に接続します。

例 : <https://192.168.xxx.xxx>



デフォルトのログイン名として、Username : root、Password : root でログインが可能です。

2. バンドルファイルを作成するため、以下のようにログイン後 [+] をクリックし、AAS の URL を [コピー] します。

Actiphy Authentication Service (AAS)

登録済みプロダクトキー + クライアント 0

ホスト名	IP アドレス	製品 (バージョン)	初回認証日時
ここにはクライアントはありません。			

イベント

タイ...	時間	カテゴリー	メッセージ
①	2023/07/12 00:45:40	サーバー	サービスを開始しました [バージョン: 2.0.3.378]
①	2023/07/12 00:45:28	サーバー	サービスを開始しました [バージョン: 2.0.3.378]

ライセンスバンドルを登録 ×

ライセンスバンドルの要求

ライセンスバンドルの要求には、次の URL を使用してください。この URL は複数回使用できます。

`https://keymaster.actiphy.com/r/b/Fn8XLX0LvvJx-C9oo`

📄 コピー ブラウザで接続する

ライセンスバンドルを登録

ライセンスバンドルを発行したら、ライセンスバンドルファイルを指定してください。

4. バンドルファイルの作成

1. 他のインターネット接続しているマシン、もしくは一時的に AAS 実装マシンからインターネット接続して、コピーした URL へ接続します。

バンドルファイルの受け取りに使用するメールアドレスを入力し、[検証!]をクリックします。

2. URL 発行元の AAS でアクティベーションしたいプロダクトキーを入力して [プロダクトキーを追加] をクリックします。

3. 追加したプロダクトキーのライセンス数が表示されます。

URL 発行元の AAS でアクティベーションするライセンスの割当て数を入力後、[このバンドルにライセンスを割り当てる] をクリックします。

含める?	プロダクトキー	製品名	補足情報	ライセンス数
<input type="checkbox"/>	XXXXXXXXXX	ActiveImage Protector 2022 Linux	現在: 0 / 10	追加割当: 1 / 10 (他 0)

ここでライセンスを割当て ↑

+ このバンドルにライセンスを割り当てる (バンドル化前なら取消可能)

4. 赤枠のチェックボックスにチェックを入れ、ブラウザ左側の [バンドル化!] をクリックします。

手順3

一つ以上のプロダクトキーを選択して「バンドル化!」を押してください。

バンドル化!

含める?	プロダクトキー	製品名	補足情報	ライセンス数
<input checked="" type="checkbox"/>	XXXXXXXXXX	ActiveImage Protector 2022 Linux	現在: 1 / 10	追加割当: +0 / 8 (他 0)

+ このバンドルにライセンスを割り当てる (バンドル化前なら取消可能)

5. 確認画面が表示されるため、[OK] をクリックします。

keymaster.actiphly.com の内容

この操作を行うとライセンスの割当てが確定され、割当てを取り消すことがライセンス復元コード無しに行えなくなります。バンドル化を実行しますか？

OK キャンセル

6. [電子メールを送信!] をクリックしてバンドルファイルをメールで送信します。

手順4

バンドルを電子メールで送信します。

電子メールを送信!

7. メールで受信したバンドルファイルを AAS 実装マシンの適当な場所にコピーします。
もしも AAS 実装マシンをインターネットに接続してバンドル化している場合には、ここからインターネット接続を切っても問題ありません。

LicenseBundle.aiplicensebundle
5 KB

5. バンドルファイルの登録

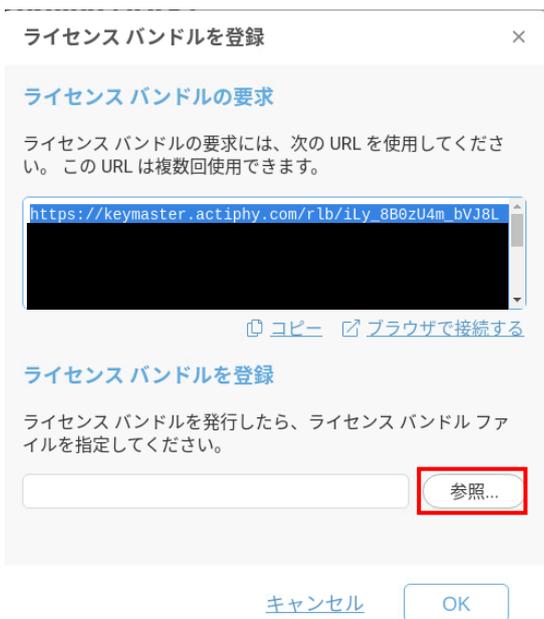
1. AAS 実装 Linux マシンで、AAS に Google Chrome からアクセスし、ログインします。



2. [+] をクリックして [ライセンス バンドルを登録] ウィンドウを表示します。



3. [参照] をクリックして、取得した [LicenseBundle.aiplicensebundle] を選択します。



4. [LicenseBundle.aiplicensebundle] を選択したことを確認して、[OK] をクリックします。



5. AAS でバンドルファイルが正常に登録されると、現在登録対象のライセンス詳細などが確認できます。

Actiphy Authentication Service (AAS)

登録済みプロダクトキー + クライアント 0

▼ 全てのプロダクトキー

▼ ActiveImage Protector 2022 Linux

🔗 [Redacted Key]

ホスト名	IP アドレス	製品 (バージョン)
WIN-R0NUOOJBIEL	192.168.139.201	ActiveImage Protector (6.5.2.7)

※製品のアクティベーションについては、各製品のアクティベーションガイドをご参照ください。

6. AAS のアンインストール

1. cd コマンドを実行し作業ディレクトを ISO ファイルまたはインストールメディアへ移動します。

```
[root@localhost ~]# cd /run/media/root/AIPBE
```

2. コマンド「./AIP-packages-tool.sh」を実行しスクリプトを実行します。

```
[root@localhost AIPBE]# ./AIP-packages-tool.sh
```

3. 起動後、メニューの [9] を実行し ASS をアンインストールします。

```
*****
**      ActiveImage Protector 2022 Linux installation tool      **
*****

** 2023-08-02 22:57:20 -Ver 0.2.92 START
AlmaLinux 9
System checking...
Free space in /opt/ is 30483MB.
OK, enough space in /opt/ for rescueboot LinuxBE.
Memory:4GB
OK, enough space in memory for set rescueboot LinuxBE.
This system is disabled SecureBoot.

[1] Agent
[2] GUI
[3] [1]-[2]All
[4] Install Kernel-devel
[5] Install datto driver
[6] Install AIPLinux
[7] Uninstall datto driver
[8] Install AAS
[9] Uninstall AAS
[10] Install StorageServer
[11] Uninstall StorageServer
[12] help
[13] exit

Please select install menu from [1-13]:9
```

実行後、「Do you want to remove AAS data?」が表示されるため [y] を入力します。

```
Do you want to remove AAS data? [Y/n] y
```

4. 「AAS remove successful.」が表示されればアンインストール完了です。

```
AAS remove successful.
```